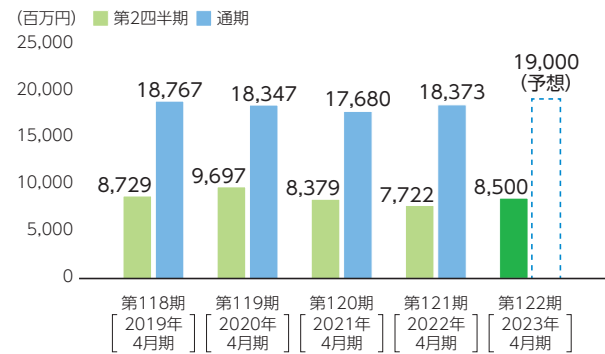
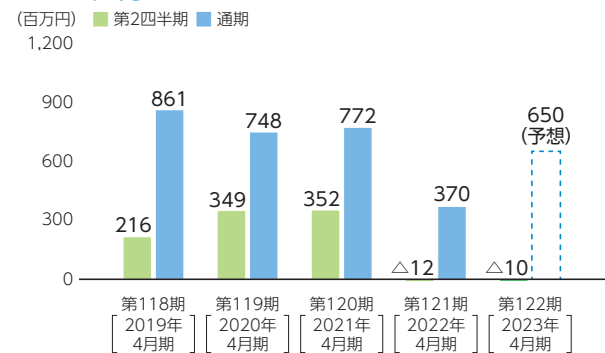


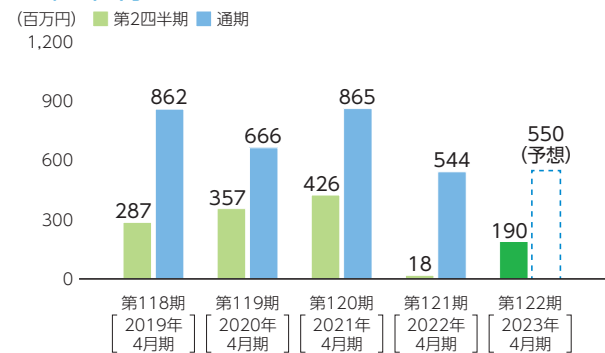
売上高



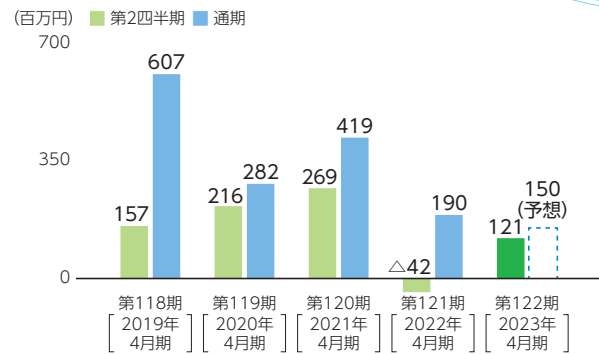
営業利益



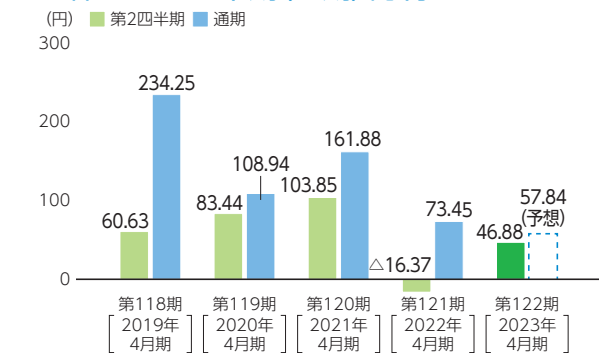
経常利益



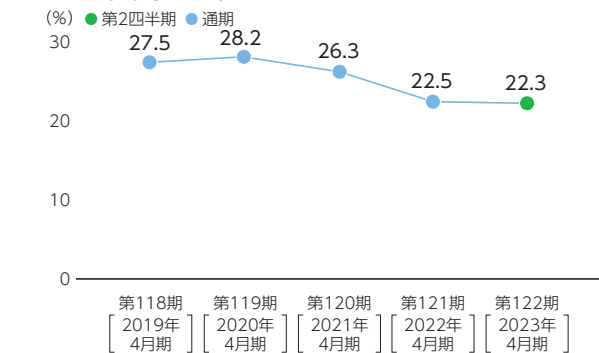
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率



会社概要

(2022年10月31日現在)

設立 1910年(明治43年)8月  
 資本金 1,378百万円  
 従業員数 284名(連結900名)  
 東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号  
 福山本社 広島県福山市一文字町14番14号  
 工場 函館・福山  
 事業所等 札幌・網走・函館・石巻・東京・高岡・福山・九州・紋別・釧路・八戸・いわき

取締役及び監査役

(2022年10月31日現在)

代表取締役社長	小林宏明
代表取締役専務	山本節夫
専務取締役	高吉良
常務取締役	小西重清
取締役	西北郷方村
取締役	取野芳村
取締役	取岡耕一
取締役	取杉之原
取締役	取原祥訓
常勤監査役	小柴和隆
常勤監査役	小杉立佐
監査役	佐藤卓己

主要グループ会社

(2022年10月31日現在)

【国内】  
 多久製網株式会社 有限会社吉田漁業部  
 株式会社泰東 株式会社温泉津定置  
 日東ネット株式会社 株式会社庄司政吉商店  
 日本ターニング株式会社 ヤマグチ株式会社  
 CNK株式会社

【海外】

レデス・ニットー・チリ・リミターダ(チリ)  
 タイ・ニットウセイモウ・グローバルCo.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(2022年10月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 6,400,000株  
 発行済株式の総数 ..... 2,605,000株  
 株主数 ..... 4,349名

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2023年3月以降の株主総会から、株主総会資料は原則ウェブサイト上でご確認いただくことになります。インターネットの利用が困難な場合等、株主総会資料を書面で受領されたい株主さまは、2022年9月1日から書面交付請求のお手続きをお取りいただくことができます。詳細は、ご利用の証券会社または下記のお問い合わせ先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで  
 定時株主総会 毎年7月下旬  
 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年4月30日  
 中間配当：毎年10月31日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日。  
 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
 【電話照会先】 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 公告方法 電子公告  
 <公告掲載URL> <http://www.nittoseimo.co.jp/>  
 但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 上場証券取引所 東京、名古屋



# 第122期 中間報告書

2022年5月1日から2022年10月31日まで

# 環境の変化に対応し、社会のニーズに応える製品・サービスの提供に努めてまいります。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第122期第2四半期連結累計期間(2022年5月1日から2022年10月31日まで)の概況等につきましてご報告申し上げます。

2023年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

### Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか？

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少や、燃油価格の高騰、資材や物流コストの上昇等により事業収益は圧迫されております。また、直近では一部の魚種では漁獲高・魚価に回復の兆しが見られるものの、景気の先行き懸念から消費者の低価格志向が継続し、外食産業向けの高級魚や水産物の需要が減少していること等から全般的に魚価は低迷しており、漁業従事者の経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの漁業関連事業では、

定置網部門の漁業者の投資意欲が盛り上がりを欠くなどの影響がありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限が緩和され、海外の商談が進展し、前年同期と比べ売上高は増加しました。陸上関連事業では、獣害防止ネットや防鳥ネット等の陸上ネットの受注が引き続き好調で前年同期と比べ売上高が増加しており、当社グループ全体としても売上高は前年同期と比べ増加しました。営業利益は、受注量の増減に応じて、柔軟な生産体制をとり、製造原価圧縮等の経費削減に努めましたが、原材料や物流コストの上昇及び新事業所関連の減価償却費の増加により営業損失となりました。また、営業外損益では、為替差益や持分法による投資利益が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,500百万円(前年同期比10.1%増)、営業損失は10百万円(前年同期は12百万円の営業損失)、経常利益は190百万円(前年同期比925.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は121百万円(前年同期は42百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

### Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

業績面につきましては、第4四半期が当社グループの売上高が最も多くなる時期であり、急激な為替変動や新型

新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念等もありますが、現時点では以下の見通しです。

漁業関連事業につきましては、定置網部門の漁業資材の納品が下期に多くなる見込みであることや新型コロナウイルス感染症に対する行動制限等が緩和され、国内外の営業活動が通常の状態に近づき、商談が進展してきており、下半期以降は需要拡大を見込んでおります。また、オリジナル商材の販売を積極的に行い、お客様のニーズに合った提案を行っていき、売上高、収益の確保・拡大を図ってまいります。

陸上関連事業につきましては、獣害防止ネットは、引き続き安定した受注を見込んでおります。また、同事業の主力商品であるスポーツネットや防鳥ネット、遊具、アスレチックネット等を中心に積極的に拡販してまいります。

2023年4月期の通期業績につきましては、今後の社会情勢、経済環境により、変動する可能性はありますが、売上高19,000百万円、営業利益650百万円、経常利益550百万円、親会社株主に帰属する当期純利益150百万円を見込んでおります。配当につきましては、第122期の期末配当金として1株当たり50円を予定しております。

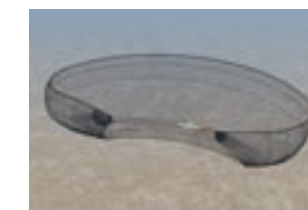
株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 漁業関連事業

6,928百万円 (81.51%)

売上高は6,928百万円(前年同期比12.1%増)となりました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限が緩和され、旋網部門や養殖網部門の海外での商談が進展したことによるものです。利益面は、受注の増減幅が大きく生産量の平準化が図れなかったことや原材料費等のコスト上昇などにより、セグメント損失は29百万円(前年同期は33百万円のセグメント損失)となりました。

### 事業紹介



旋網



海苔網

定置網をはじめ、旋網、曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しております。また、漁網の設置や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しております。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁労の現場に即した事業展開を心がけております。これからも蓄積した技術に加え、新しい技術を積極的に生かして、お客様のご要望に対応してまいります。

船舶

## 陸上関連事業

1,568百万円 (18.45%)

売上高は1,568百万円(前年同期比4.9%増)となりました。主な要因は、獣害防止ネットや防鳥ネット等の受注が引き続き好調であることによるものです。利益面は、資源価格の上昇による資材の値上げなどにより、セグメント利益は19百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

### 事業紹介



飛散防止ネット



落石防止ネット

サッシ用防虫ネットや防球ネット、獣害防止ネットから遊具ネットにいたるまで、さまざまなシーンでご利用いただける製品を提供しております。環境問題意識が世界的に高まる中、持続可能な社会の実現に向けて商品開発にも注力しております。中でも獣害防止ネットは20年以上前より生分解性ネットの開発を独自で行い、エコフレンドリーな活動を継続してまいりました。今後も時代の変化に合わせた繊維製品の提供を行うことが当社の社会的使命と考え、環境負荷の少ない商品やサービスの提供を通じて社会貢献を目指してまいります。

遊具アスレチックネット

